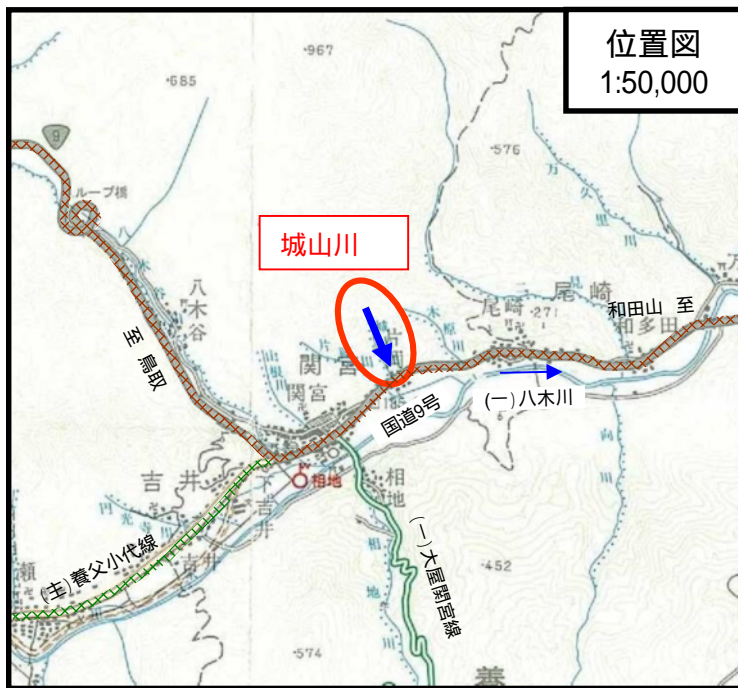


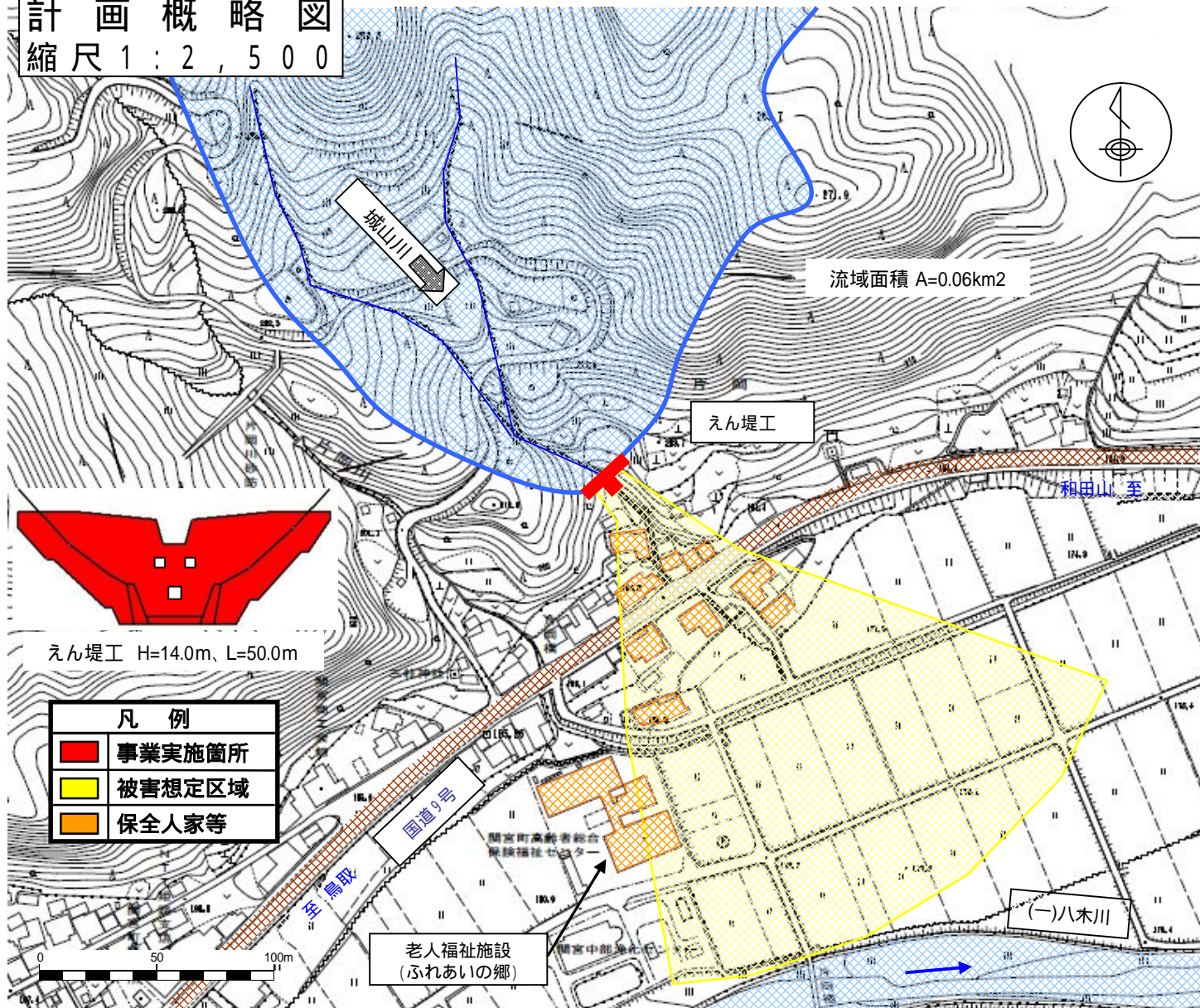
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 しるやまがわ 城山川	養父市 せきのみや 関宮	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
養父市関宮				H24	H26
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 14.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)円山川水系八木川に流入する土石流危険溪流 ・流域は溪床土砂が厚く堆積しており、溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・被害想定区域内に災害時要援護者関連施設である老人福祉施設があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約5ha(長さ400m、最大幅300m程度)に及ぶ。 ・老人福祉施設「ふれあいの郷」(避難所)(災害時要援護者関連施設)、人家9戸、国道9号(緊急輸送路)				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成21年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・事業について地元の理解が得られており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・国道からの視認性を考慮し化粧型枠を採用するとともに、事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・災害時要援護者関連施設(老人福祉施設)や国道といった重要施設が存在することから、早期着手に対する地元・施設からの要望が強い。 以上より、H24年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

しろやまがわ
城山川
[養父市]



計画概略図
縮尺 1 : 2,500



凡例	
	事業実施箇所
	被害想定区域
	保全人家等

えん堤工 H=14.0m、L=50.0m

老人福祉施設
(ふれあいの郷)